

平成 17 年 12 月 26 日

南海電気鉄道株式会社

「かわいそうな象のはなし」に関する講話と映画

みさき公園長による出張講座「動物園講座」を **来年 2 月まで延長** します

大阪府南部・和歌山県北部の小学校を対象

南海電鉄(社長 山中 諄)が経営する遊園地「みさき公園」(大阪府泉南郡岬町)では、平成 17 年 9 月 6 日(火)から 12 月 25 日(日)まで小学校の児童を対象とする出張講座「動物園講座」を開講し、期間中 7 校・約 1,400 人の生徒に講演を行いました。このたび各小学校より好評いただいたことから、来年 2 月まで本講座を継続いたします。

「動物園講座」とは...

みさき公園長が主に南海沿線の小学校を訪問し、『かわいそうな象のはなし』として小学校 2 年生の教科書にも取り上げられた太平洋戦争下の上野動物園での実話、および同園とみさき公園との関わりについて講話を行います。また、その実話をもとに制作されたアニメーション映画『象のいない動物園』の上映も行います。



出張講座「動物園講座」の様子  
(岬町立多奈川小学校にて)

開講期間を延長する「みさき公園長による出張講座『動物園講座』」について

1. 目的

みさき公園で昭和 32 (1957) 年の開園以来飼育していたインドゾウの「イズミ」と「ミドリ」が昨年、老衰のため亡くなりました。そこで 1 周忌を迎えることから 2 頭への感謝と追悼の意味を込めて、ゾウにまつわる話を小学校教育に役立てることにしました。

2. 開講延長期間 平成 18 年 1 月 10 日(火)～平成 18 年 2 月 28 日(火)

3. 対象 小学校の児童

お申し込みは大阪府南部(堺市以南)・和歌山県北部を基本として応相談クラス・学年・学校単位で受け付けます。

4. 所要時間 約 60 分を基本として応相談

「内訳」講話・質疑応答約 20 分 / 映画上映約 40 分

5. 講座内容

「かわいそうな象のはなし」とみさき公園との関わりについての講話

「かわいそうな象のはなし」は、太平洋戦争が激しくなった昭和 18(1943)年に上野動物園のゾウが戦災を恐れて殺されてしまうという内容。みさき公園は、当時上野動物園長であった古賀忠道博士が建設指導された動物園の最初の園として、昭和 32 年に開園しました。

アニメーション映画「象のいない動物園」の上映

「かわいそうな象のはなし」を映画化したもので上野動物園創設 100 周年記念として昭和 57 年(1982)年に制作。戦災孤児である二人の兄妹を主人公として、戦争が終わった東京に再びゾウがやって来るまでを描いています。

6. 費用 無料(講師料・交通費・資料代などすべて無料です)

7. 申し込み みさき公園事務所(TEL.0724-92-1010)[担当] 坂部・川尻・西畑

参考 9 月 6 日から 12 月 25 日までの開講実績

8 月 9 日 岬町立多奈川小学校

9 月 30 日 熊取町立熊取西小学校

9 月 30 日 泉佐野市立長坂小学校

10 月 18 日 泉佐野市立第 2 小学校

11 月 24 日 泉南市立樽井小学校

11 月 28 日 阪南市立箱作小学校

12 月 9 日 泉佐野市立長南小学校 約 1,400 人

以上